

# Energy NEWS NEXT

ニュースレター

## エネルギーの現場を知る

**毎**年度、1・2年生を主な対象として、様々なエネルギー関連施設を訪問する現場演習を実施しています。今年度は2017年11月8日(水)に北海道、2018年2月26日(月)～3月2日(金)にハワイを訪問しました。

説明を受ける様子



**北海道演習(1年生5名、2年生3名が参加)**：パリ協定の実現に資する日本最大規模の実証実験の現場である苫小牧CCS(Carbon dioxide Capture and Storage)実証試験センター、再生可能エネルギーの本格導入に向けた北海道電力南早来変電所 大型蓄電システム実証事業、さらにソフトバンク苫東安平メガソーラーを訪問しました。技術動向や課題について学ぶだけでなく、本学卒の若手社員からキャリアパスについて

でも語って頂き、学生へエールが送られました。訪問した学生からは、コア技術の要素だけではなく設備全体としてのシステム、エネルギー効率やコストを考えなければいけないことに気づいた、自身の研究的知見から考察を深めてみた、という内容のレポートがありました。

**ハワイ演習(1年生5名、2年生1名、4年生1名が参加)**：ハワイでは積極的に再生可能エネルギーの導入が進められています。本演習は学生が主体となって訪問先を検討・調整し、実現しました。ハワイ大学マノア校の樽井礼先生からエネルギー・資源経済の講義を受け、ハワイ通商消費者局消費者部門(Division of

Consumer Advocacy, Department of Commerce and Consumer Affairs)では、ハワイの電力政策についての説明を受けました。また、その政策を受けたハ



▲ハワイH-POWER見学の様子

ワイ電力の事業について説明を受け、さらに廃棄物発電施設H-POWERとメガソーラー施設Kalaeloa Solar Twoを訪問しました。参加した学生のレポートには、日本の課題との比較をした上で、自身の専門領域のみならず、本演習をきっかけとして調査した内容も含めた解決策の提案がありました。また、政策的な話題についても積極的に質問して新しい知見を得たり、受入・説明くださった方の熱心な姿に感銘を受けた学生もいたようです。